

# リスクアセスメント & 作業手順書

工事名称	2024年度 東海北陸自動車道 高山管内維持修繕業務		作成会社名	中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋株																					
工期	令和6年4月1日	～	令和7年3月31日	作成者	中島 強太																				
作業名称	高速道路補修作業		作業手順書	作成年月日	令和4年7月22日																				
使用機械 使用設備	2tトラック 1台 ※必要時『標識車 1台』『高所作業車 1台』等々		改正年月日		現場責任者																				
使用工具、機器	スコップ、ほうき、台車、フロー、手鋸切り、シラスダー ※必要時『チェンソー』『インパクトドライバー』『ハンマードリル』『草刈機』		協力会社	会社名																					
保護具	ヘルメット、安全靴、脚絆、マスク、手袋(草刈り作業時は耐切削用)、視認性の良い作業着、自発光チョッキ(夜間及びTN内)		協力会社責任者	自筆サイン																					
材料	交通管理施設補修材、路面補修材、その他補修資材一式		作業順序 <table border="1"> <tr><td>1</td><td>事前準備</td></tr> <tr><td>2</td><td>出発～到着</td></tr> <tr><td>3</td><td>作業開始</td></tr> <tr><td>4</td><td>後片付け</td></tr> <tr><td>5</td><td>現場離脱</td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> </table>			1	事前準備	2	出発～到着	3	作業開始	4	後片付け	5	現場離脱										
1	事前準備																								
2	出発～到着																								
3	作業開始																								
4	後片付け																								
5	現場離脱																								
免許・資格等 (免)(技)(特)(準特) の区別を記す	自動車運転免許証(中型) 振動工具取扱作業者安全衛生教育、伐木等の業務に係る特別教育、刈払い機取扱作業者																								
作業人員	作業責任者 1人、作業員 3名、保安員 1人 ※必要に応じて、増員可 合計 5名																								
作業手順 周知会 参加者 サイン (記録)	作業責任者(職長)	周知会実施日	令和4年7月28日																						
	(役割を確認してこの作業に関わる全員が自筆サインする)																								

リスクの見積り	重大性			組み合わせ	リスクの評価	優先度又は実施担当者
	○:軽微 休業4日未満	△:重症 休業4日以上	×:極めて重大 死亡・障害を伴う			
可能性	○:めったに発生しない (5年に1回程度)	○△	○×	○○	1:極めて小さい	関係者に対策の周知
	△:時々発生する (1年に1回程度)	△△	△×	○△、△○	2:かなり小さい	関係者に対策の指示
	×:かなり発生する (6ヶ月に1回程度)	×△	××	○×、△△、×△	3:中程度	職長が確認
				△×、×△	4:かなり大きい	工事担当責任者が確認
				××	5:極めて大きい	十分に訓練をした対策が必要

リスクレベル 5=十分に訓練をした対策が必要 4=工事担当責任者が確認 3=職長が確認 2=関係者に対策の指示 1=関係者に対策の周知

作業項目 (誰が)	手順 主なステップ	急所 作業のポイント	リスクの洗い出し (予想されるミス・ロス)	可能性	重大性	評価点	リスクレベル	ミス・ロス	リスクの除去・低減のための実施すべき事項の特定 (防止対策)
準備作業(全員)		健康状態の確認・免許・資格等の確認・光物(チョッキ・脚絆・ヘッドライト等)の充電確認・業務用プレートの確認、入場方法・入場箇所・車両順番・役割分担の確認・車両の始業前点検、工具の確認、積み込み荷の確認(落下・飛散対策)荷締め位置、荷台のネット・シート掛けの確認する。 <b>工事車両幕がロープ及び養生テープで確実に固定されていることを確認。</b> 担当者は施工計画段階でNEXCOと打合せした内容を作業員へ周知・報告すること。 <b>車両出入庫の際に、運転手は車両の周囲(上下含む)を指差し、障害物が無い事を確認のうえ、出入庫する。</b>							
現地確認(全員)	作業箇所確認	危険ポイントの確認							
	ケーブル等周辺安全確認(埋設物・構造物)	管理用図面で事前確認	図面がないケーブルが確認された場合、作業を中断し、担当者へ報告すること。						
事前準備	出発前の車両点検及び道具の準備	忘れ物がないよう全員で準備を行う	重量物を降ろしたり運ぶ際に腰を痛める	×	○	×○	3	安	重量物を運ぶ際は、2名以上で声を掛け合いながら運ぶ。
			荷台シート養生時に足を滑らせ転落する	△	△	△△	3	安	単独作業は禁止とし、2名以上にてシート養生を実施する。
出発～到着	基地(事務所)出発及び路肩流入・到着	現場付近の路肩及び車線内への流入を行う	後続車への注意喚起が遅れ、線形や視界が悪い場合追突される	△	×	△×	4	安	道路線形等を考慮し500m以上手前から回転灯、表示等を明示する(視界が悪い場合は、1km以上手前より実施)
	簡易路肩規制設置	車両の切れ目を確認し設置する	交通量が多い、又は狭小路肩内に作業時一般車と接触する	△	○	△○	2	安	誘導員の合図の元、車両の切れ目を見て設置する 標識車後方に矢印板を3枚設置し、1枚目の矢印横にピカボン設置
作業開始	作業開始【各作業手順書に準る】 植栽:伐採・草刈り 補修:PH補修、事故復旧								
後片付け・離脱	後片付け・離脱・機材整理	清掃作業を確実に実施	清掃作業を怠り、一般車両通過時に資機材が接触し管理瑕疵となる	△	△	△△	3	公	従事者全員にて清掃完了確認の実施を徹底する  工事車両幕を取外した場合は専用のケースに確実に格納し車内に保管する事
リスクレベル	5=十分に訓練をした対策が必要 4=工事担当責任者が確認 3=職長が確認 2=関係者に対策の指示 1=関係者に対策の周知								